

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 かながわ木の香・長生き住宅

グループの名称 「かながわきずなの家」をつくる会

直近採択グループ番号 04-0229-0288

(グループ代表者)

代表者名 二藤 忠 代表者印
代表者所属先 一般社団法人かながわ福祉リフォームサポート機構
代表者所在地 神奈川県横浜市中区太田町2-22神奈川県建設会館B棟
代表者電話番号 045-264-4103

(グループ事務局)

事務局事業者名 一般社団法人かながわ福祉リフォームサポート機構
事務局担当者名 鈴木 富男 印
事務局郵便番号 231-0011
事務局所在地 神奈川県横浜市中区太田町2-22神奈川県建設会館B棟
事務局電話番号 045-264-4103
事務局FAX 046-276-0659
事務局担当者E-mail tsuzuki555176@galaxy.ocn.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	かながわ木の香・長生き住宅
2. グループの名称(必須)	「かながわきずなの家」をつくる会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0229-0288
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	神奈川県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	二藤 忠
7. グループ代表者の所属先(必須)	一般社団法人かながわ福祉リフォームサポート機構
8. グループ代表者所在地(必須)	神奈川県横浜市中区太田町2-22神奈川県建設会館B棟4階
9. グループ代表者電話番号(必須)	045-264-4103
10. グループ事務局事業者名(必須)	一般社団法人かながわ福祉リフォームサポート機構
11. グループ事務局担当者名(必須)	鈴木 富男
12. グループ事務局郵便番号(必須)	231-0011
13. グループ事務局所在地(必須)	神奈川県横浜市中区太田町2-22神奈川県建設会館B棟4階
14. グループ事務局電話番号(必須)	045-264-4103
15. グループ事務局FAX番号(必須)	046-276-0659
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	tsuzuki555176@galaxy.ocn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	11	
II. 製材・集材製造・合板製造	14	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	8	
IV. プレカット	11	
V. 設計	8	
VI. 施工	9	
VII. 木材を扱わない流通	2	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	神奈川県産材	神奈川県	かながわ県産木材産地証明制度	1	国内
	神奈川県産材	神奈川県	かながわブランド県産木材品質認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟	/					
			0	m ²						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	それぞれの採択枠内で、工事着工時期の早いもの順に配分する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かながわ木の香・長生き住宅	(地域型住宅供給対象地域) 神奈川県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「かながわきずなの家」をつくる会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0229-0288	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	大規模地震が予想される本県の特性を踏まえ、構造材には強度のある神奈川県産材や合法木材を使用し、重い屋根を避けるなど、地震に強い長期優良住宅に対応した住宅とする。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	外壁は通気工法を基本として耐久性に優れ、可能な限り庇を出して雨漏れ事故を防ぐとともに、省エネルギー性能などに配慮した住宅とする。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	内装材には、できる限り木の温もりと香りを感じる木のあらわとし、外観は周辺環境とマッチした住宅とする。	○
④①～③の背景	神奈川県は、県土面積の約4割を占める山岳・森林地帯を除けば比較的平坦な地域が多く、首都東京に隣接する全国第2位の人口を抱える大都市圏で、木材は産地というより大消費地である。一方、首都直下型地震、南関東地震、東海地震等が想定され、活断層も多く発見されているので、建築物の耐震性の確保は喫緊の課題となっている。また、木造住宅の密集市街地も多く、火災延焼の恐れから、外壁等の木質化には抵抗感もある。主な森林資源はスギ、ヒノキ材であり、他の地域産材と比べても高い強度を有しており、構造材としても優れている。しかし、木材産地と住宅地とが近接しており、製材等の工場の立地には多くの制約がある。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	家族が末永く幸せに安心して暮らせる家「長生き住宅」を基本コンセプトとして、「健康」や「持続可能性」を重視するライフスタイルを志向する住まい手のために、地域に根差した工務店を中心とする住宅関連産業グループと住まい手相互の情報交流ネットワークによる「きずな」の輪を構築する。	
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木供給から施工までのグループによる効率化、共通仕様・共通部材による合理化を目指す。	
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材以外の資材においても、神奈川県の実情に応じた共通部材となるよう、構成員からの供給を受け、かつ、コスト低減も図る。	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: よく使われる耐震改修診断やスパン表などを基に、構造材を中心にした標準仕様を設定する。	
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材以外の資材においても、可能な限り共通部材となるよう構成員からの供給を受け、コスト低減も図る。	
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木供給から施工までの構成員全体が集まる会合を開催し、木材供給に伴う事務の合理化を図る。	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「かながわきずなの家」をつくる会に3つの委員会を設置して、上記の対応について検討し、生産の合理化を図る。	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去の実績に基づいたノウハウを構成員に提供するとともに、構成員間の情報交換の場を提供する。	
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵担保責任保険やフラット35による施工基準に準拠することとし、かつ、省エネ施工については施工技術者講習の受講を推奨している。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建設住宅性能評価基準に準拠した検査を指導しており、また、必要に応じて事務局が検査を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 材木ばかりでなく他の材料においても一式表示ではなく細かく数量を拾うことを指導するとともに、今後、標準単価や積算のパターン化などを検討課題としている。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 保険法人が提供する完成保証制度をヒントとした構成員相互の互助システムがある。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	消費者に木造の良さや最近の構法を実感してもらうために施工構成員の協力を得て、グループとして年1回以上の現場見学会を開催する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かながわ木の香・長生き住宅	(地域型住宅供給対象地域) 神奈川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「かながわきずなの家」をつくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0229-0288	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	当初の建築主ばかりでなく、将来、当該住宅が売買されるようなケースも想定されるので、最低限、当該住宅が長期優良住宅であるとの情報を、施工構成員が責任をもって蓄積し、必要に応じて、個人情報保護に抵触しない範囲で開示できるようにする。	
①	住宅履歴情報の蓄積	○
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局又は構成員独自の管理により、住宅履歴情報を蓄積する。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 蓄積した情報を管理するため、必要に応じて保険法人が提供するサービスを利用する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	メンテナンス基準の整備	○
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの標準的な維持管理計画、点検表及び点検マニュアル「わが家のカルテ」を策定している。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同上。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 同上。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会において「わが家のカルテ」などを教材として勉強会を実施している。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: DIYではないが、現場見学会などをグループとして年1回以上開催を計画する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅関連イベントに出展して、相談ブースを設置してグループの取り組み等を紹介している。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「かながわきずなの家」をつくる会の規約にあるように維持管理委員会を設置して活動している。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 保険法人が提供する完成保証制度をヒントとした構成員相互の互助システムによる。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 保険法人が開催する説明会・勉強会に積極的に参加するよう推奨している。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅に技術基準に関する研修会を実施する。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術委員会において、これんまでの実践を通じたノウハウを基に共通仕様様の検討を行う。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の自主性に委ねているが、社内検査のマニュアルの作成を検討する。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 零細工務店が多い当グループの構成員では個々に需給計画を策定することは困難であるので、グループとして参加するイベントや相談会を通じて、消費者のニーズ把握に努める。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術委員会において、ベテラン技能者を講師とした研修会により、若手技能者の技術力向上を図る。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 30名 今年度の参加目標人数 10名	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 15名 今年度の参加目標人数 5名	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員である施工事業者の少なくとも技術者全員の受講を働きかける。	○
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 法や制度の改正により必要となる新たな技術等の導入に向け、勉強会等を開催する、	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かながわ木の香・長生き住宅	(地域型住宅供給対象地域) 神奈川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「かながわきずなの家」をつくる会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0229-0288	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する	神奈川県産材又は合法木材を主要構造部の80%以上使用する。
①	共通 ルール(必須)	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	原木供給事業者について、海外事業者は、本申請において必要とされる念書提出の期限内での入手が不可能であるため登録を行っていない。その場合の原木出荷が適合していることを示す方法は次のとおりとする。 (1)以下に該当する認証制度に基づく証明書の添付 ①都道府県により産地が証明される木材・木材製品 ②森林経営の持続性や環境保全への配慮などについて、民間の第三者機関により認証された森林から産出される木材・木材製品 ③林野庁作成の「木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明のためのガイドライン」(平成18年2月)に基づき合法性が証明される木材・木材製品 (2)原木の産出国がわかる書類のひな形の添付(商社や製材工場が発行する納品書)
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の供給グループ(原木供給、製材等、流通)による地域材の出荷状況等の情報提供を行い、全構成員が情報を共有できる体制の構築を目指す。
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 本県における一般的な住宅においては、椅子式等の生活スタイルの浸透により、和室が好まれなくなっている。
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 耐震性を考慮して、和瓦のような重い屋根を避けるようになっている。
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: デザイン性から障子を活用することはあるが、積極的に使用を推奨してはいない。
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 保温性などから左官仕上等を採り入れている例は多い。
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 神奈川県のような大都市圏では家族構成の変化が著しく、このような変化に柔軟に対応する取り組みが求められ、当初からバリアフリー化に取り組んでいる。
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 本県では良質な住宅地景観を維持しようとする活動が積極的に行われているので、各市町村や地域が定める街並みガイドライン等に適合するよう努める。
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 茶室など特殊な事例を除いて和室を設けることが少なくなっているが、和の住まいの要素を採り入れた事例集を作成したいと考えている。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> かながわ木の香・長生き住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 神奈川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 「かながわきずなの家」をつくる会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0229-0288	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。